

当院に心不全、急性冠症候群、心房細動、心筋炎、周産期心筋症
で入院されたことのある患者さま・ご家族さまへ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2022年3月31日の間に、日本循環器学会が実施する全国の循環器疾患実態調査に参加した医療機関より登録された方のうち、心不全、急性冠症候群、心房細動、心筋炎、周産期心筋症で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査(JROAD-DPC) 拡充データベースの構築と心疾患における治療薬等の急性期導入の実態および安全性に関する研究

【研究責任者】

京都第二赤十字病院 循環器内科 部長 白石 淳

【研究の目的・意義】

我が国における心血管疾患入院患者は高齢化とともに増加傾向にあります。一方で、心疾患に対する入院中の薬物治療の実態に関する全国的なデータを用いた解析はこれまで少ないのが現状です。この研究は、DPC という診療報酬情報をし、我が国における心疾患における急性期治療の実態を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に薬剤の有効性・安全性評価に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報等】

参加施設から日本循環器学会循環器疾患実態調査へ提供された以下の情報
施設 ID、入院年月日、性別、退院年月日、退院先、退院時転帰、身長、体重、要介護度、低栄養の有無、摂食・嚥下機能障害の有無、主傷病名、入院契機傷病名、入院時併存症、続発症、手術、手術日、持参薬使用状況、入院時 ADL スコア、退院時 ADL スコア、入・退棟時 FIM、退院時 modified Rankin Scale、NYHA 心機能分類、入院時死亡、医療費、年齢、チャールソンスコア、入院・外来の治療内容

追加で各施設の検査結果等から取得する情報
バイタルサイン・血液検査・尿検査・心電図・心エコー結果

【情報の管理責任者】

京都第二赤十字病院 病院長 小林 裕

【研究の実施体制】

研究代表者

国立循環器病研究センター 情報利用促進部 金岡 幸嗣朗

共同研究機関・研究責任者

研究機関名	研究責任者
京都府立医科大学	的場 聖明
関西医科大学	竹花 一哉
東北大学	中山 雅晴
京都第一赤十字病院	兵庫 匡幸
京都第二赤十字病院	白石 淳
中部総合医療センター	野村 哲矢
洛和会音羽病院	横井 宏和
奈良県立医科大学	渡邊 真言
奈良県西和医療センター	斎藤 能彦
奈良県総合医療センター	添田 恒有
市立奈良病院	堀井 学
南奈良総合医療センター	喜多 揚子

【外部機関への情報等の提供】

本研究で収集した情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

【研究期間】 研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、当院ホームページ（https://www.kyoto2.jrc.or.jp/patients/clinical_research/clinical_research/）に掲載しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の許可を受けて実施します。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

京都第二赤十字病院 循環器内科 部長 白石 淳

電話 075-231-5171（代表）